

# えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

## これからの道徳教育に求められること 「道徳の時間」が教科化へ

○小学校と中学校では毎週1時間、道徳の授業が行われていますが、60年ぶりに道徳を「特別の教科」に位置付けて、小学校は30年度、中学校は31年度から授業が行われることになっています。

○いま、なぜ道徳の教科化なのか。

道徳の授業で子供たちの発達段階を踏まえ、「してはいけないことがある」といった指導をしっかりと行うとともに、「正義とは何か」といった、見方や立場によって答えが一つでない課題に自分の問題として考えたり、真剣に議論したりして、自立した人間として他者と共によりよく生きようとする道徳心を育むことが必要とされることなどが上げられます。

○道徳を「特別の教科」として、次のように位置付けて進められます。

- ・一つは、学級担任が担当します。
- ・二つは、検定教科書を使用します。
- ・三つは、数値による評価は行いません。

これにより、道徳教育の理念を教員が共有し、検定教科書を活用した道徳科（週1時間）を確実に実施します。

（平成27年8月の北海道道徳教育推進教師等研究協議会より）

○えりも町における現在の取組

小学校と中学校では、現在、1週間に1時間「道徳の時間」を位置付け授業を行っています。

また、学校では参観日に「道徳の時間」を公開するなど、保護者の皆さんにもどのような学習をしているかを理解していただいています。

教育委員会では、授業を振り返ることをより充実させるため、学期ごとに学級担任が作成する指導略案やその反省、校長・教頭の所見を記述した報告をいただき、取組の状況を把握するなどして全町上げて取り組んでいます。



北海道教育委員会では、保護者との連携を図って道徳教育を充実するため、「わたしたちの道徳」（写真）という資料を作成し、道徳の時間はもちろん、学校の教育活動全体を通じて、また、児童生徒が家庭に持ち帰って保護者に感想などを書いてもらうなど連携を図る取組が行われてきています。

道徳の時間は、自分を見つめ伸ばす、他の人とのかかわりを考える、生命を考える、社会の一員として見つめるなど、一人一人がじっくり自らの生き方・在り方を考える時間として重要な時間です。

今回の道徳の教科化は、教科と同様に位置付けることによって、道徳教育の一層の充実を図ろうとするねらいで進められます。

**来年度使用される中学校教科用図書（教科書）が採択されました。採択結果等は、福祉センターやホームページで公表する予定です。**

7月27日に開かれた当町教育委員会において、平成28年度使用の中学校教科用図書（いわゆる教科書）が採択されました。教科書は、4年に一回部分改訂され、10年に1回全面改訂されるものです。また、毎年、使用する教科書を教育委員会が決定することになっています。

決定に当たっては、教育委員会では日高管内で組織する北海道第11地区教科用図書採択教育委員会協議会の決定事項を参考に決めています。

来年度は、一部の教科書（家庭科）が変わります。変更の理由には、これまでの教科書より、毎時間学習する課題やまとめが明確に示され、また基礎的・基本的な内容について整理して記述されていることなどが上げられます。



2015/07/26 10:47

東洋小では、7月27日・28日、8月17日に全学年が学年ごとに分かれて振り返り学習に取り組みました。写真は1・2年生です。

『チームえりも』で夏休み学習サポート先生方が児童生徒と学習を通して一層の心の絆で結ばれています



2015/07/26 10:36

えりも小では、7月27日から8月5日まで、それぞれの学年が2日から5日間、1学期の振り返りに取り組みました。写真は5年生です。



笛舞小では、8月17日・18日に「学びの教室」と名付けて学年ごとに分かれて学習に取り組みました。写真は2年生です。



2015/07/26 10:57

えりも岬小では、7月27日・28日・29日に全学年が一緒になって学習に取り組みました。写真はその様子です。

夏季休業中、中学校では部活動前1時間の自主学習が行われ、高校では目的に応じて学年ごとに学習が進められました。今後も取組が先生方の情熱と保護者の強い支援で一層進められることを期待しています。



2015/07/26 11:11

庶野小では、7月27日・28日に全学年が一緒になって取り組みました。また、中学生のお姉さんが勉強に参加して教えてくれました。